

学校長 式 辞 （平成30年度養正小学校卒業証書授与式）

学校や玉置町公園の桜のつぼみもふくらみはじめ、養正小学校区の風景も少しずつ春の装いに移り変わろうとするころとなりました。この佳き日に、村田彰久 津市議会議員様はじめ 多数のご来賓の皆様 保護者の皆様にご臨席をいただき、平成30年度養正小学校卒業証書授与式を挙行できますこと、誠にありがとうございます。高席からではございますがお礼を申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました38名の卒業生のみなさんおめでとうございます。その卒業証書は、小学校の課程を修了した証明でもあります。そこには、これまで育てていただいた保護者のみなさん、長谷川先生・庄山先生・麻友先生やこれまで指導してきた先生たち、そしてあたたかく見守ってくださった地域の皆さんの思いもこめられています。あらためてぜひその思いもいっしょにしっかり受けとめてください。

私がみなさんと過ごしたのは六年生の1年間しかありません。でも、その中には、5月にしてはめちゃくちゃ暑かった修学旅行、一日遅れだったけれど素晴らしいお天気のもと力いっぱいがんばった運動会、連合音楽会や養正学習発表会での美しい歌声、またグループで心を寄せ合いながら取り組む学習風景、一年生の世話や自分の役割にしっかり取り組む様子など、たくさん思い出が心に浮かんでいきます。

さて、六年生を送る会でのみなさんの発表に、メキシコから数か月だけ一時入学としてこの学校に来たキャサリンのことがありました。キャサリンはまったくひと言も日本語が話せない状態でみんなのクラスに入りました。仲間としてどう受け入れたらいいのか、どう互いの思いを通わせたらいいのか、時にはいっしょに笑ったり、時にはぶつかったりしながらの毎日だったと思います。キャサリンの側で考えても、来て一週間で修学旅行に参加したことなどその勇気や前向きな意欲は私たちが見習うべき点多々ありました。みんなの中のある人は、キャサリンのことを作文にこう書いていました。一部紹介します。

「ぼくは六年前に引っ越してきました。そのときまわりの子が優しくしてくれました。それが今のクラス、六年一組です。今年の春、メキシコから転入生がきました。ぼくはむかえられる側からむかえる側になりました。今度はぼくがやさしくする番です。友だちとしてできるだけその子の心配が少なくなるようにしようと思いました。県外からきたぼくより国外からきた子のほうがもっと心細いと思ったからです。だから自分から話しかけたりしてその人のことを気にかけるように心がけました。ぼくが受け取ったやさしさのかたまりを六年生になってその子に引きつぐことができたかなあと考えています。」

日本の人口はこれから30年で約2000万人減少するといわれています。みなさんが大人になって将来生きていく社会ではその人口減を補うために、今よりももっともったくさんの外国の人たちを職場や社会に受け入れる必要があります。逆にみなさんが世界に羽ばたき、学んだり仕事をしたりすることももっと増えていくでしょう。そうになると、互いを認めあい、良さを学びあい、そして支えあいしていくことが、今以上に求められます。また、外国から来た人ばかりでなく、障がいを持つ人であっても、高齢のお年寄りであっても、男性であっても女性であってもその他の性であっても、他にもいろいろな違い

を受け止めあいながら生きていかなければなりません。小学校、特に六年生でみなさんが仲間の大切さや人権について学び考えたことがその基盤としていかされるでしょう。卒業生のみなさんがこれから歩いていく未来にはそういった厳しくより高いものを求められる面もありますが、その未来をきりひらき明るくものにするのもみなさんの力입니다。

アメリカの文化人類学の研究者であるマーガレット・ミードという人は、次の言葉を残しています。

「The future is now.」つまり「未来とは、今である」と。

今を着実に生きられることこそ、未来をひらく力になります。養正小のスローガンは、「凡事徹底」です。「凡事」つまりあたりまえのことこそきちんと確実にできるようにということです。中学校以降の学習や生活でも、ぜひ今を大切に「凡事徹底」で歩いてください。また、そこにはこれまで同様に、家族や先生、仲間や周りの人たちの力や支えがあつてのことですから、ぜひそのつながりを大切に、感謝することも忘れずに生きていってください。

最後になりましたが、保護者の皆様 お子様のご卒業誠におめでとうございます。皆様がお子様の教育に対して注がれた並々ならぬ思い、また学校教育活動にいただいたご理解やご協力に敬意を表し、高席からではございますが心より御礼申し上げます。

それでは卒業生のみなさん、ぜひ未来にむけて、今を大切にしながら、希望を胸に大きくはばたいていってください。今後の皆さんの輝く姿を楽しみに、卒業にあたっての式辞といたします。

平成31年3月19日